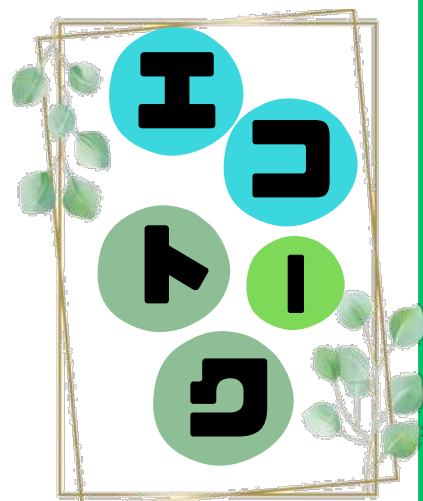


宇美町



(2021年広報11月号)

宇美町にお住まいの皆さんいか
がお過ごしですか？

今年は梅雨入りが観測史上2番
目に早く、7月15日にはこれま
でに見たことのないような大粒の
ひょうが降り、町内各地でベラン
ダや車庫の屋根に使われている樹
脂製の波板に穴が開くなどの被害
があり、8月にはひばりが丘に通
じる道路をはじめとした土砂崩れ
が発生しました。近年、毎年のよ
うに日本のどこかで大雨による災
害が報じられています。「雨が降る
とは自然現象やけんしょんなかろ
うもん」では済まされなくなっ
ている現況を「このままでは地球全
体が大変なことになる」と世界中
で声高に叫ばれていることを皆さ
んもご存じだと思っています。

地球の周りには様々な成分で構
成されている大気が存在していま
すが、1番多いのが窒素で約7
8%、次に酸素で21%などとな
っています。地球温暖化現象に大
きな影響を与えている二酸化炭素
は0.03%ですが、イギリスで
起きた産業革命前は0.028%
でした。



50年以上前からこの「二酸化
炭素の濃度が倍になると平均気温
が2℃上昇し様々な自然環境に大
きな影響を及ぼすことになる！」
と研究を進められている米国のプ
リンストン大学の真鍋淑郎博士に
今年のノーベル物理学賞が授与さ
れることが報じられました。20
18年の二酸化炭素排出量は世界
では335億トンで、そのうち日
本は12億1200万トン、福岡
県では6393万トンであると発
表されています。内訳をみてみま
すと産業部門・工業プロセス部門
ではコストダウンと合わせた省エ
ネ化が進み排出量は削減されてい
るものの一般家庭や業務部門の排
出量が倍加していることが懸念さ
れています。

これから先の地球の自然環境に
影響を改善できる人材を、宇美町
から輩出できるのは今を生きる私
たちの思いと行いであることを自
覚したいものです。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆